

寿楽苑だより

—— 12C号 ——

足湯へ行こう

10月20日の午後、入居者様と一緒に、舟見リバーサイドパーク足湯施設「手足ぬくもり ひばり野湯」へ出かけてきました。

ポカポカと暖かく、外へ出かけるにはうってつけの日です。

遠くの景色を眺め、「紅葉、だいぶ進んできただね」。

足湯へ到着し、流れる温泉に手を触れながら、「あつたかて、気持ちいいわ」。

「前に来たことあるけど、何回来てもいいとこや」「こんどまた、連れて来てもらえる」

どうやら、足湯があとに召していただけたようだ。



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664
TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941
e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp
<http://www.funamijurakuen.jp>

舟見寿楽苑



発行/令和4年11月20日



ポインセチアの装飾作り

10月末から、2階の入居者様が、冬に向けてポインセチアの装飾作りに取り組んでいます。

最初は、「私、きれいに、できるかな」と、なんだか心配げな表情だった入居者様。

「折り紙を折る人、花の形に切る人、のりで貼る人、それぞれ得意なことを担当していただきますよ」

そう伝えると、ほっと安心したような笑顔に変わりました。

装飾作りでは、どなたも真剣な表情ですが、手作業の合間に「昔、洋裁の仕事しつづいたから、こういう作業得意なの」と、懐かしそうに話される方も。



「やってみたら、案外と難しくないもんやわ」

「私やって、ちゃんとできたもん」

「細かい手作業、久しぶりやけど楽しいね」

「テレビで、指動かしたら、頭にいいがいって、言うとったよ」

手を動かしながら、それに伴い口も動くなど、和気あいあいとした雰囲気の中、装飾作りは順調に進んでいます。

2階フロアが、たくさんのポインセチアで彩られるのを、今から楽しみにしている入居者様と職員です。



ひばり里苑



チューリップの球根植え

11月6日、入居者様にお手伝いしていただいて、チューリップの球根植えを行いました。

日中気温が上がって暖かい日になり、テラスにセンターを準備して作業開始です。

「球根の間隔、どれだけ開けたらいいがけ」「チューリップの球根ちゃ、ね」などと、経験ある入居者様たちに相談しながら1個ずつ植えていき、ホースで水やりをして終了。

「春にきれいな花咲くが、今から楽しみやわ」



焼き芋パーティ



10月31日、ユニット広場で全国各地の紅葉映像を見ながら、焼き芋パーティを開きました。

「あれっ。この芋おいしそうやわあ」と言いながら一口食べると、「こりゃ、なんて甘いが」と嬉しそうな表情に変わります。

「ほくほくの温かいサツマイモ食べるが、久しぶりや」

あっと言う間に食べ終えて、お代わりをする入居者様もいるなど、どなたも秋の味覚に大満足の、焼き芋パーティになりました。

デイサービス

ペットボトルふりふりゲーム

10月6日から、ペットボトルの飲み口を2個つなげ、中へストローを20本入れて振って動かし、誰が早くストローを全部下へ落とすかを競う、名付けてペットボトルふりふりゲームを行いました。

「途中で引っかかったら、動かんがなるぜ」

「頭と手、一緒に使わにゃならんから、あろあろになってしまいそうやわ」

「でも、これ腕動かすから体が温まるし、楽しいゲームやね」



ハロウィンパーティ



10月24日から、広場でハロウィンパーティを開催、全員手作りの帽子をかぶって、カボッチャというゲームを楽しみました。

1から3までの数字が書いてある段ボールの中に、カボチャに見立てたボールを投げて、落ちた所の合計点数を競うというものです。

「なかなか、3点の所へは、いかんぞ」

「力入れ過ぎたらダメで、ほどほどがいいが分かっるとつもりやけど、どうしても力入ってしまうが」

喜 樂 苑



秋の大運動会

10月3日コミュニティルームで、秋の大運動会を開催しました。

入居者様は、紅組と白組に分かれ、それぞれの組の代表が正面へ進み出て、選手宣誓です。

応援合戦の後、待ちに待った競技がスタート。

大波小波、玉入れの順で行われ、入居者様はどの競技にも、真剣な表情で取り組みます。

「ガンバレ、ガンバレ。ほら、もうちょっと」

「向こうの組なんか、負けられんぞ」



「どうして、あこに入らんがかね」
 「緊張したら力入ってダメなが。リラックスせんと」
 「左まに体を動かすと、やっぱり楽しいもんやね」
 「また来年も参加して、雪辱果たさんんや」

普段は、とてもやさしい感じの入居者様たちですが、この日ばかりは、元気あふれる大きな声と、活気のある動きが、会場のあちこちに見られました。

運動会終了後、競技で喉が渴いたのか、飲み物を一気に飲み干す入居者様の姿が。

行 事 等



米寿お祝い会

10月19日ひばり野苑に入居している池田明敏様の、米寿お祝い会が開催されました。

池田様は昭和8年生まれの満八十八歳。コロナ禍のため規模を縮小しての開催、紺色スーツにネクタイ姿でお祝い会に臨みます。

高村施設長からお祝いの言葉の後、入善町長からのお祝い状と、記念品などが贈呈。

ハンカチを握りしめた、優しい眼差しのご家族に見守られながらのお祝い会でした。



リンゴとサツマイモ



10月26日、喜楽苑でスイーツを楽しむ会を開きました。

準備してあったのは、魚津加積の青リンゴと、紅あずまという品種のサツマイモです。

歯ごたえと味を楽しめるよう一部刻んで準備してあり、口へ入れた入居者様「なんて、おいしいが」。「リンゴとサツマイモ、両方とも今が時期やけど、一緒に食べられるなんて、ありがたいことやわ」、「甘いケーキも悪くないけど、こいがもいいね」

まごころ善意
令和4年 9月18日～令和4年11月17日
(順不同・敬称略)

寄付金

・杉田 一彦



寄付物品

- ・椿 征子
- ・幅 栄典
- ・早川 久義
- ・中島 久美子
- ・水島 幸夫
- ・袖澤 吉男
- ・松嶋 孝司
- ・瀧本 美樹
- ・柳澤 善春
- ・吉野 正治
- ・杉田 一彦
- ・沓掛 忠昭
- ・杉本 智宏
- ・中原 博司
- ・匿名

ありがとうございます



ご家族様・関係する皆様へのお知らせ

インフルエンザワクチン・新型コロナワイルスワクチン予防接種

11月4日から8日にかけて、入居者様と職員等関係者へのインフルエンザワクチン予防接種を行いました。また、5回目になる新型コロナワイルスワクチンの予防接種は、12月9日から1月20日にかけて実施する予定です。ご家庭におかれましても、この冬新型コロナウィルスはもちろん、併せてインフルエンザへの対策も怠ることのないようにご注意ください。

マジックショー

10月末の午後、喜楽苑ひまわり広場で、職員扮するマジシャンしろくまによる、マジックショーを開催しました。

マジシャンしろくまは、定期的にショーを開催しており、入居者様が心待ちにしている催しの一つです。



この日は、黒マントを身にまとい、見事な手さばきで魔法のハンカチを皮きりに、鳩が飛び出す魔法のステイックまで9種類のマジックを披露。

最後に、女性が男性へ入れ替わるイルージョンもあり、入居者様は大喜びでした。

避難訓練

10月26日、喜楽苑の休憩室から出火したとの想定で。また、11月1日には、舟見寿楽苑1階にある洗濯場から夜9時に出火したとの想定で、避難訓練を行いました。

避難訓練には入居者様も参加。緊張した表情で職員と一緒に、火災を想定した訓練に取り組んでいました。



新入職員紹介



11月14日付けで、ひばり野苑へ配属になりました、宝泉碧海です。

異業種からの転職で介護の仕事は初めてのため、介護福祉士実務者研修を修了し、勤務することになりました。これまで身につけた知識を生かしながら、職員の方々から技術を学び、一日も早く仕事を覚えたいと思っています。まだまだ未熟ですが、一生懸命頑張りますので、ご指導よろしくお願ひいたします。

編集後記

一緒に歩いていた時のこと、連れが「家へ30キロ程の荷物が届いて、運んで来た人に手伝いましょうか」と言ったら、大丈夫ですよって。その運転手さん女なのに」。そして、「男でも持てないくらいの重い物、仕事とは言え大変。荷物を家へ届けてくれる人たちに、ちゃんとありがとうございました」と問われてドキッ。

夕食は、収穫したカボチャの料理だと聞き、「カボチャ、どのくらいあるが」と私。すると「苗を1本植えたけど、枯れるが心配でもう1本余計に植えたら2本とも実って、豊作やったよ」。ずつしり重い我が家のカボチャ、素材の良し悪しは別として、料理の腕に過大評価を加えて、味はもちろん言うことなし。

心の中でどれだけ感謝していると思っていても、口に出さねば相手へは伝わらないもの。嫌われる自慢話は控えることにし、どんな些細なことでも「ありがとう」という感謝の言葉を、よもや忘れていたなどとは。